

## 各区局におけるデータ活用事例抜粋(令和元年7月11日～11月29日記者発表)

担当課及び年月	見出し及びURL(記者発表ページ)	内容
① 港北区区政推進課 (令和元年9月9日)	小学生が体験 トップアスリートレベルの「データ×タグラグビー授業」～慶應義塾、港北区、日吉台小学校の連携事業～  <a href="https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/kohoku/2019/09091000.html">https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/kohoku/2019/09091000.html</a>	慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科と港北区は、横浜市立日吉台小学校の体育の授業で、GPS・準天頂衛星「みちびき」に対応したGNSS受信機やドローン等を用い、映像やデータを通じたスポーツへの興味や運動能力の向上に取り組んでいます。 今年度は、子どもたちが、より自身の運動能力を客観的に理解し、次のステップに繋げることができるよう、授業の中で、映像を多く活用します。
② 経済局ものづくり支援課(令和元年10月25日)	【記者発表】IoT導入支援セミナーin横浜の開催  <a href="https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/keizai/2019/20191025iot.html">https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/keizai/2019/20191025iot.html</a>	「IoT」により、ヒト・モノ・コトがインターネットにつながり、遠くにおいても自動的に様々な情報を入手することができるようになりました。さらにものづくりを始め、様々な現場でも「IoT」の活用が進んでいます。 本セミナーは、IoTの基礎知識を網羅的かつ分かりやすく解説し、ワークショップで具体的に検討いただくなど、IoT導入のきっかけとなることを目的としています。なお、事例紹介では中小企業におけるIoT活用事例をご紹介します。
③ 道路局施設課 (令和元年11月11日)	神奈川県内初！ビッグデータの分析結果に基づき生活道路の安全対策を実施し検証しました  <a href="https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/doro/2019/1111bigdeta_bunseki.html">https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/doro/2019/1111bigdeta_bunseki.html</a>	国土交通省横浜国道事務所と横浜市道路局が協力し、ビッグデータ(ETC2.0データ)を活用した生活道路の交通安全対策を進めており、平成31年2月に港北区大倉山三丁目において、ランプと狭さを本格設置しました。 安全対策の効果を確認するため、約半年間蓄積したビッグデータを分析した結果、車両の走行速度は目標の30km/hを継続して下回っていることがわかりました。 なお、国土交通省が提供するビッグデータの分析結果を用いた生活道路における安全対策の本施工、効果検証は、神奈川県内では初めての取組です。
④ 経済局新産業創造課 (令和元年8月27日)	I・TOP横浜「路線バス自動運転プロジェクト」始動！～日本初 大型バスによる営業運行での自動運転実証実験を実施します～  <a href="https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/keizai/2019/0827itop.html">https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/keizai/2019/0827itop.html</a>	横浜市と相鉄バス株式会社、群馬大学は、IoT等による新ビジネス創出を促進する「I・TOP横浜」の取組として、自動運転技術による持続可能なモビリティサービスの実現を目指し、「路線バス自動運転プロジェクト」を立ち上げます。 また、本プロジェクトの一環で、「里山ガーデンフェスタ2019 秋」の開催期間となる令和元年9月14日(土曜日)から10月14日(月・祝)まで大型路線バスを使用した自動運転の実証実験を行います。 この実証実験では、郊外部における交通ネットワークの維持や、人口減少に伴う労働力不足への対応を目的に、自動運転バスによる地域交通課題の解決を目指します。

## 各区局におけるデータ活用事例抜粋(令和元年7月11日～11月29日記者発表)

担当課及び年月	見出し及びURL(記者発表ページ)	内容
⑤ 経済局新産業創造課 (令和元年8月27日)	「デジタル・エリアマーケティング実証研究」の実施について～ARやデジタルサイネージを活用したデータの分析と活用～ <a href="https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/keizai/2019/0827shinsangyou.html">https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/keizai/2019/0827shinsangyou.html</a>	横浜市は、KDDI(株)が実施する、デジタル時代のマーケティング手法が購買活動に与える影響に関する実証研究を、「I・TOP横浜」の枠組みで支援します。 本実証研究では、AR(拡張現実)、デジタルサイネージを活用しながら、アプリケーションによって、横浜スタジアムを中心とした位置情報、購買活動情報を収集し、各種マーケティング手法が購買活動に与える影響を研究します。なお、本実証研究は内閣府「戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)」の一環として実施します。 横浜市とKDDI(株)はこの研究を通じ、「I・TOP横浜」の取組の中で、ビジネスにおけるデータ活用の推進を行い、地域経済の活性化を目指してまいります。
⑥ 経済局新産業創造課 (令和元年9月17日)	I・TOP横浜ラボ「子育て中の快適な働き方」に関する実証実験を実施します！ <a href="https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/keizai/2019/0917itoplalabokosodate.html">https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/keizai/2019/0917itoplalabokosodate.html</a>	横浜市では、I・TOP横浜の取組として、重要な社会課題や行政課題について、実証実験場所を提供する「I・TOP横浜ラボ」を立上げています。 「I・TOP横浜ラボ」第一弾では、本市と女性活躍推進に関する連携協定を締結している株式会社ママスクエアと連携して、同社の運営する店舗を実証実験フィールドに「子育て中の快適な働き方」に資する新たなIoT製品・サービスのビジネス化・プロジェクト化に関する提案を募集していました。 今回、この提案募集に関して、「子どもの見守り・防犯」に関する製品開発の提案を採択し、IoTを活用した防犯ブザーによる新たな子どもの見守り、防犯に関する実証実験を実施するとともに、安心して快適に働ける環境や、新しいビジネスモデルの創出を目指します。
⑦ 経済局ライフイノベーション推進課 (令和元年11月25日)	「横浜の医産が連携した健康経営高度化プログラム」がスタート！ <a href="https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/keizai/2019/1125yhc.html">https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/keizai/2019/1125yhc.html</a>	横浜市では、よこはまウェルネスパートナーズを組織化し、市内企業の健康経営の推進及びヘルスケアビジネス産業の振興を行っています。このよこはまウェルネスパートナーズを活用して、(株)相鉄ビルマネジメントを中心とした横浜ヘルスケア・コンソーシアムが形成され、健康経営を高度化するプログラムの提供が始まりました。 本コンソーシアムが行うプログラムは、経済産業省の行う健康寿命延伸産業創出推進事業(地域の実情に応じたビジネスモデル確立支援事業)に2年連続2回目の採択を受けました。
⑧ 経済局新産業創造課 (令和元年10月3日)	I・TOP横浜「まちの回遊性向上プロジェクト」実証実験第2弾を実施します！ <a href="https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/keizai/2019/1003itopaiunkoubus.html">https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/keizai/2019/1003itopaiunkoubus.html</a>	横浜市は、「I・TOP横浜」の取組として、街の回遊性を向上させ、周辺施設への送客効果による経済の活性化、にぎわいの創出に寄与することを目指し、昨年度、株式会社NTTドコモ、株式会社未来シェアとともに「まちの回遊性向上プロジェクト」を立ち上げ、「AI運行バス」の実証実験を実施しました。この度、昨年度に引き続き、「AI運行バス」の実証実験を実施します。 今年度の実証実験では、タクシー車両に加え、ニーズの高いルート(桜木町ー赤レンガーパシフィコ横浜)には、横浜市交通局が小型バスの運行により参画する他、車いすなどに対応したユニバーサルデザイン車両の配車機能を追加します。



## 各区局におけるデータ活用事例抜粋(令和元年7月11日～11月29日記者発表)

担当課及び年月	見出し及びURL(記者発表ページ)	内容
⑨ 経済局新産業創造課 (令和元年11月19日)	ET/IoT2019展に「横浜パビリオン」を出展！ <a href="https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/keizai/2019/20191119_etiot.html">https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/keizai/2019/20191119_etiot.html</a>	横浜市及び公益財団法人横浜企業経営支援財団(IDEC横浜)は、「I・TOP横浜」の活動の一環として、パシフィコ横浜で開催される組込み/IoT総合技術展2019(ET/IoT2019)に「横浜パビリオン」を出展し、市内の組込み/IoT関連企業の販路拡大、ビジネスマッチングを支援します。
⑩ 経済局新産業創造課 (令和元年11月26日)	タクシー配車端末の実証実験を病院で実施！ <a href="https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/keizai/2019/1126movcall.html">https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/keizai/2019/1126movcall.html</a>	I・TOP横浜では、平成29年9月～10月に横浜市の一部地域を対象に、株式会社ディー・エヌ・エーが提供する、次世代タクシー配車アプリ「MOV(モブ)」の実証実験を実施し、平成30年4月に一般社団法人神奈川県タクシー協会と共同で正式サービスを開始した際の支援を行いました。 この度、「MOV」の仕組みを利用し、気軽にタクシーを呼べる専用配車端末「MOV CALL(モブコール)」を横浜市内3か所の病院に設置する実証実験を行います。 実証実験では、患者様や病院にご来院する方の利便性向上を目的に、市内の病院にご協力いただいています。